

発行責任者 附田 明彦  
東京電力パワーグリッド株式会社 群馬給電所  
群馬県前橋市本町1丁目8番16号  
027-898-4672

## 群馬給電所 NEWS LETTER をお送りします！

日頃より電気の安定供給にご協力いただき、ありがとうございます。

昨年度は、弊社の普段の取り組みをお伝えたく、給電所見学会、変電所見学会を開催しましたが、ご参考になりましたでしょうか？

本年度も皆様と直接お会いして、主任技術者相互の情報交換の場のご提供や、みなさまのお役に立つ情報をお伝えすることを計画しておりましたが、コロナウィルスにより人と人との接触機会が一変してしまいました。

そんな状況でもお客さまとつながればという想いから“ニューズレター”を発行してみました。皆様のお役に立てれば幸いです。第1号は“電気技術者の育成について”をメインにお届けします。

ご意見など承りながら続けられればと考えておりますので、よろしくお願ひします。



東京電力パワーグリッド株式会社  
群馬給電所 所長 堀江裕一

### 設備総括グループからのメッセージ

#### 『東京電力では水害対策をどのようにおこなっていますか？』

群馬総支社 設備総括グループ GM 伊藤行紀

『東京電力では水害対策をどのようにおこなっていますか？』

『電気設備の防水対策にはどんなものがありますか？』

『非常用発電機設置の工事費はどれくらいかかりますか？』

昨年10月に発生した台風19号以降、お客さまからこんなお問い合わせを頂く機会が増えました。水害対策については、弊社内でも議論が活発に行われております。

水害対策には、配電盤などの機器が納められた建物への浸水速度を遅らせるための『軽減対策』、屋外機器の浸水を回避するための『抜本対策』、機器が浸水した場合の早期復旧を目指した『早期復旧対策』など、さまざまな視点から対策を検討します。また行政との関係強化なども検討することがあります。

群馬県のホームページには、各自治体別のハザードマップが掲載されています。是非ご参考になさってください。

★群馬県HP\_県内市町村リンク集 <https://www.pref.gunma.jp/06/h4010077.html>



伊藤 GM

防水対策は、防水シートを如何に効果的に貼るかがポイントです。

防水対策の抜本対策は機器を数m嵩上げすることですが、工事費が高くなるという課題があります。非常用電源の設置も効果的ですが、浸水時において早期に電気を必要とする設備の見極めと、災害時以外の使い道などを検討します。

東京電力グループでは、お客さまの様々なニーズに対応可能な技術、設備を持っております。

水害以外でも、自然災害発生時のレジリエンス強化でお困り事がありましたら、給電所または設備総括グループへお気軽にご相談ください。

## 電気技術者の育成について

### 技術者の育成に困っています！！

新人が配属されたのですが、電気関係に詳しくないんです。初歩から教える必要があるんですが、なかなか時間が取れないし、適当な教材も揃っていないんです。OJTで教育していくのも限界がありますよね。何か良い人材育成方法はないでしょうか・・・？

製造業 Aさん(40歳)



写真はイメージです。

いわゆる「電気工学」を学んでいない新人がいて、社員教育それも主任技術者教育に苦慮しているという話を良く聞きます。業態によっては、総務課の担当者が電気設備の管理を任されていたり、2年程度で人事異動があり設備に詳しくなる前に異動になってしまったり・・・。

社会人になってからの学ぶ機会という資格取得(電験3種)が思い浮かびます。資格試験予備校というと会計や法律の分野はたくさんありますが、電気関係の資格予備校というのはほとんど見かけませんね。そのため書籍で独学という人がほとんどでしょう。書籍での独学は、通学や授業を受けるための時間的制約がないものの、知識の習得に時間がかかる、実機器に対する知識がなかなか得られないといった欠点がありますね。

そこで今回は、昨年から開催されている東京電設サービス(株)の「電気設備エンジニア育成スクール(基本コース)」をご紹介します。

このスクールは受変電設備の実機器を使用して、機器の原理・構造・役割や保護継電器の種類・動作試験、さらには電気設備による災害事例などを学べ、実機器を「見て」「触って」の操作、シミュレーターでの事故模擬、様々なヒヤリハット体感などにより、電気設備を理解でき、設備の安全確保はもちろん、技術者の更なるスキルアップが図れるそうです。

電気設備エンジニア育成スクール(基本コース)  
<https://tdsnet.co.jp/service/training-and-seminar/electrical-equipment-engineer-training-school/>



TDS ホームページより

「電気設備エンジニア育成スクール(基本コース)」は現在のごところ開催日程未定ですが、「[開催案内をご希望の方はこちらから](#)」の入力フォームにご登録いただきますと、開催日程が決まり次第メールで開催案内が届きます。ぜひ、ご登録ください。

### 受講者の声

- 受変電設備について基礎から説明があり、知識の再確認や新しい発見に繋がった。実機による体験で実践に近い形で設備の構造や運用方法を学べた。質問したことに対し、とても丁寧に対応して頂いた。
- 各種遮断機の重要性を知ることで業務で行う電力会社の1号・2号線の切替作業手順の重要性を特に感じる事が出来た。安全を第一に考えることができる内容だった。
- 66kV設備を設置している研修施設を開放して頂ける機会が少ないため受講できて良かった。配電線用設備について東京電力エリアの機器を見ることができて良かった。
- 実機(ヒヤリハット体験)や受電設備等分かりやすく良かった。実際の事故事例やトラブル事例の紹介があった。
- 座学でまず知識を得て、その後に実技にて実際に体で覚えるようなスケジュールになっていてとても充実した研修でした。
- 保安協会でも似た講習会を受講していたがその内容よりも中身が充実していた。実機が室内にあり良い環境だった。講師も親身に質問に答えてくれて助かった。
- このような場に生徒として久しぶりに参加し新たな発見もあった。電気主任技術者として私の後継者にはOJTだけでなく本スクーリングを是非受講させたいと思います。

### ご意見・ご感想をお待ちしております。

「群馬給電所 NewsLetter」をお読みになったご感想・ご意見を以下のURLからお寄せください。

<https://customform.jp/form/input/52682/>

たくさんのご感想・ご意見をお待ちしております。

News Letterがご不要なお客さまはお手数ですが [gung.kyuso@tepcoco.jp](mailto:gung.kyuso@tepcoco.jp) までご連絡ください。

